

平成 28 年度北九州市八幡医師会事業計画

平成 27 年度の国勢調査の速報によれば、日本の総人口は 1 億 2,711 万人で、5 年前の国勢調査時から 94 万 7 千人減り、大正 9 年の国勢調査開始以来、初めて減少に転じました。このまま推移すれば人口は激減し 200 年後には 1,400 万人、300 年後は 450 万人を割るとの試算もあります。日本がいよいよ消滅する過程に入ったというくらいの危機感を持つ必要があります。人口激減や少子高齢化に則した地域医療体制の大いなる改革を急がねばなりません。

現在、福岡県においては 2025 年に向けた国の地域医療構想策定ガイドラインに沿って、2 次医療圏ごとに地域医療構想調整会議が開催されており、高度急性期、急性期、回復期、慢性期といった病床機能別に必要病床数の推計がなされています。北九州医療圏においては、脳血管疾患、虚血性心疾患、癌医療は概ね自己完結できていますが、慢性期病床の不足が懸念されています。急性期病床の慢性期病床への転換といった姑息的な手法ではなく、人口構成や医療資源の配置状況など様々なパラメーターを駆使して、地域の特性に合わせた未来志向の医療提供体制を考えていく必要があります。

増え続ける高齢者を地域で支えていく仕組み作りも急がねばなりません、そのためには医療サービスや介護サービスのみならず、介護予防、生活支援、低所得者対策といった様々な支援を切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が必要です。八幡医師会では、昨年 6 月から北九州市の委託事業として「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し様々な活動をしています。課題は多いものの多職種の情報集積と発信を通して、在宅医療と介護サービスの連携拠点を目指して引き続きセンター機能の充実を図りたいと考えています。

平成 27 年 12 月 4 日に開催いたしました臨時総会において、看護専門学院看護師科 3 年課程設立事業計画をご承認頂きました。八幡医師会創立 100 周年記念事業の一環として、平成 29 年 4 月開校を目指し学院長はじめ職員全員が一丸となって取り組んでいるところです。看護師養成は社会の要請でもありますし医師会の責務とも考えております。

先の述べました地域医療構想や平成 29 年 4 月から運用開始が予定されている新専門医制度など、医療は今大きな変革の時にあります。会員諸氏と医療情報を共有し、地域医療の安定的な供給に資するため以下の重点項目を推進してまいります。会員諸氏の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

重点項目

1. 救急医療を中心とする地域医療提供体制の再構築

医療機関や市民に対する広報を充実させ、無用不急の救急受診を減らすことにより救急医療担当者の負担軽減を目指す。また、二次救急医療を担当する救急告示病院及び行政との連携を強化し、市民が安心のできる救急医療体制を構築する。

2. 災害医療への取り組み

災害時に医師会として地域で医療活動等を実施する体制を整え、技術を修得するため、八幡地区及び周辺の戸畑区、若松区、遠賀・中間地区で三師会が連携する災害時医療救護訓練・研修会を実施するとともに、災害時、緊急時の連絡網を構築する。また研修会においては、実際に被災地で活動した医師や救急隊による講演や指導を企画し、より現場に近い内容を学べるようにする。

3. 勤務医・研修医との連携強化

大学医局に所属していない勤務医・研修医が半数を占める現在、生涯学習および地域医療連携の手段として医師会への所属を促し、八幡が彼らの第二の故郷となるべく地域全体で育成に取り組む。

また、平成21年に立ち上げた八幡医師会臨床研修医懇話会、超音波研修会を更に発展・充実させるとともに、勤務医に対して医師会が開催する研修会への参加を引き続き積極的に働きかける。

4. 在宅医療・連携支援センターの強化

地域包括ケア推進のために、在宅医療・連携支援センターの機能を強化して八幡医師会訪問看護ステーションと協力し、病院と診療所の連携のために中心的な役割を担う。そのために多職種が連携して在宅医療の推進できるように邁進する。

5. 新生児・乳幼児虐待への対応

死亡事例の8割以上を占める新生児、乳児および幼児への虐待を未然に防ぐため、周産期から産婦人科医・小児科医・精神科医が、行政と連携をとりながら、実効的な活動・方法等の検討を行う。さらに保育園、幼稚園とも連携の上、養育者の育児ストレスを早期に発見し解決の方法を検討するためのネットワークを構築する。

6. 精神保健対策の推進

平成25年度に立ち上げた八幡精神科医会を軸として、産業医との連携並びに自殺対策として一般医との連携を図るため、産業医との合同研修会、一般医との懇談会、その他地域の他職種との連携事業などを実施する。かかりつけ医と精神科専門医の相互理解を深め、精神科患者の紹介等をより緊密にし、また、かかりつけ医の精神科疾患への対応能力強化を図るために合同カンファランス等の開催を企画する。

7. 広報活動の推進

対内広報の充実を図るとともに、市民に医師会活動を理解していただくため対外広報誌の発行を昨年に引き続き検討する。また、ペーパーレスの時代に対応するために、ホームページの充実を目指す。

8. 次代の医師会を支える人材の育成

医療は適切な医療制度なくしては出来ないことに鑑み、医療制度改革に関する理解を深めるために各種委員会、地区委員会、地区常会で討論を行い、次代の医師会を担う人材が育つ土壌を形成する。また、各種委員会への参加を医師会会員へ広く求め、会員のさまざまな意見をくみ上げる場を設ける。

9. 八幡医師会（医師・医療従事者）無料職業紹介事業の推進

会員医療機関の医療従事者確保のために、平成21年5月に新設した八幡医師会無料職業紹介事業を推進する。

10. 看護専門学院の将来検討

八幡医師会看護専門学院の准看護師科を継続し、現在新設中である看護師科3年課程（レギュラーコース）を2019年4月に開講させるために、教員の確保及び学習環境の整備を行い、医師会および会員が一体になって看護専門学院の安定した運営を行う。医師会が看護師を育成することにより、地域医療の看護体制を維持し、地域医療の基盤を支える。

11. 医療・福祉センターが持つ在宅医療部門の強化

地域における医療・介護ニーズの高まりを受け、小児から高齢者を対象に訪問看護を実施し、さらに居宅介護支援・介護予防支援を強化し地域包括ケアシステムの構築を目指す。

12. 八幡地区の医療供給体制の強化

八幡には多数の基幹病院があり、八幡医師会会員医療機関と連携をとりながら高度な医療を提供してきた。平成29年には旧尾倉小学校跡地に北九州市立八幡病院が新築移転する予定であるし、今年4月には北九州市立総合療育センター西部分所が青葉一丁目に開所する。現在でも八幡は医療供給体制として恵まれた地域であると考えているが、今後も身体の不自由な高齢者や障害を持つ児童とその家族が今以上に安心して暮らして行ける街にするために、地域包括ケアシステムの完成とより良い医療の提供体制確立を目指して行く。そのためにも、八幡医師会と行政・基幹病院との連携を持続し一層強化する。

13. 八幡医師会100周年記念事業の開催

2017年3月に八幡医師会は創立100周年を迎える。過去の八幡医師会の歩みを再確認し、今後も医師会員の力を結集し地域医療を支える医師会として邁進していくように、未来への展望を考え、医師会として進むべき目標を定める。過去の会員の足跡を検証するために100周年記念誌を発行する。2017年3月18日に創立100周年記念行事を開催し、次の百年に向かって行く意識を会員全員で共有する。

14. 福岡県医師会診療情報ネットワーク（愛称；とびうめネット）の拡充

地域医療を充実させるためには医療連携が重要となる。そこで、福岡県医師会診療情報ネットワーク（愛称；とびうめネット）への会員の参加を促進し、救急医療の現場での患者情報へのアクセス、医療機関との連携の簡易化を目指す。多数の医療機関に参加を求めるためには、システム導入の簡便化、患者情報入力・更新の簡易化が必須であり、その改革を推進するために、北九州市医師会と協力し福岡県医師会へ強く働きかける。

事業内容

1. 医道倫理の高揚
 - (1) 自浄作用活性化
2. 医療安全対策
 - (1) 医療事故・院内感染防止対策
 - (2) 西部地区医療安全連絡協議会の活動支援
3. 地域医療対策
 - (1) 救急医療提供体制の再編強化と救急医療ネットワークの推進
 - (2) 災害医療対策
 - (3) 医療機関の連携推進
 - (4) 在宅医療・緩和ケアの推進
 - (5) 勤務医・研修医との連携推進
 - (6) 市民センター顧問医事業の推進
 - (7) とびうめネットの推進と拡充
4. 地域保健対策
 - (1) 特定健診・特定保健指導
 - (2) 介護予防健診、各種検診（がん検診を含む）
 - (3) 予防接種対策
 - (4) 母子保健対策
 - (5) 母体保護対策
 - (6) 成人・老人保健対策
 - (7) 学校保健対策
 - (8) 産業保健対策
 - (9) 感染症対策（新型インフルエンザを含む）
 - (10) 精神保健対策
5. 医学振興対策
 - (1) 生涯教育の推進
 - (2) 分科会活動の支援
 - (3) 臨床研修医への教育プログラムの作成、実行
6. 医療・介護対策
 - (1) 医療保険対策
 - (2) 労災・自賠責医療対策
 - (3) 介護保険対策
7. 広報活動の推進
 - (1) 八幡医師会報の発行
 - (2) 対外広報誌の作成
8. 医業経営対策
 - (1) 労務対策
 - (2) 無料職業紹介事業の推進
9. 八幡医師会看護専門学院対策
10. 八幡医師会医療・福祉センター事業対策
11. 八幡医師会 100 周年事業計画